



RP835P (親機)

作業連絡用通信システム

取扱説明書

このたびは、作業連絡用通信システム RP835P をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管してください。お買い上げになった製品に、ご不審な点やお気付きの点がありましたら、なるべく早めにお買い上げになった販売店にお申し付けください。

Printed in Japan 07/2020

55AC851012

ご使用まえに

「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は、「感電注意」が描かれています。

 ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は、「分解禁止」が描かれています。

 ●記号は使用者の行為を指示することを告げるものです。左図の場合は、「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

安全上のご注意

- ・ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは必ず保存してください。

警告

● 病院内や航空機内など、使用が禁止されてた場所では、この機器の電源を切ってください。医療機器や電子機器の動作に支障をきたす恐れがあります。

● 付属の AC アダプター以外のものを使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● 交流電源 100 V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。

● 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一、機器の内部に水などがいった場合は、まず AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

● 万一、異物がこの機器の内部に入った場合は、まず AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

● 万一、この機器を落としたり、破損した場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

● この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

● AC アダプターの電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 近くに雷が発生したときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

● この AC アダプターを、他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

● この機器の上や近くに水などのいった容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

警告

● AC アダプターの電源コードの上に重いものをのせたり、コードがこの機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 水につけないでください。火災・感電・故障の原因となります。

● 濡れた手で親機のケーブルを取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。

● 本機の分解は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
● 本機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第 2 条 8 号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。本機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。

注意

● この機器が近くのテレビ・電子機器・医療機器等に影響を与えるときは、ご使用にならないでください。
● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。
● お手入れの際は安全のため AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。
● 移動させる場合は、AC アダプターをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
● 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
● 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
● 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● AC アダプターを抜くときは、必ずアダプターを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。

● アンテナが誤って、目にささらないようにしてください。

ご使用前の注意

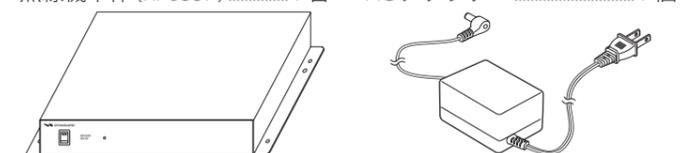
- 親機(RP835P)の分解は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 本機は、防滴構造になっておりません。水がかかる場所や湿度の高い場所ではご使用にならないでください。
- ほこりが多い場所ではご使用にならないでください。
- 本機(RP835P)の背面に貼られている、証明ラベルは絶対にはがさないでください。
- テレビ、ラジオ、公共通信等に雑音が入ったり混信が生じる時は、本機(RP835P)の使用はおやめください。また発電所、変電所、放送局や無線機の近くなどでは、混信したり、通話音声が目切れたりする恐れがありますので、ご注意ください。
- 子機(HX835P)と親機(RP835P)のアンテナを近づけてご使用になると、通話音声が届きにくくなる場合があります。従って、子機(HX835P)と親機(RP835P)のアンテナの距離は 5m 以上離してご使用ください。

特長

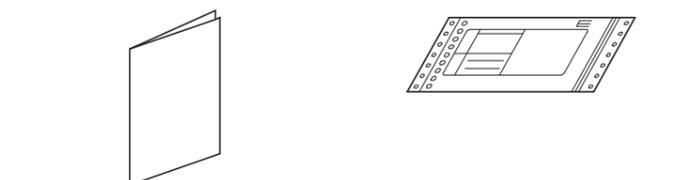
- 親機(RP835P)は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第 2 条 8 号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」および電波法施行規則第 6 条「特定小電力無線局」に該当する 400MHz 帯複信方式トランシーバー(同時通話が可能)です。本装置を使用するにあたり、無線局の免許は不要です。
- 子機(HX835P)およびオプションの基地局(CX835P)を追加することで、最大 9 人まで同時に通話できます。
- 子機(HX835P)を 9 台以上でご利用になる場合は、自動的に空きチャンネルを探し通話回線を確保する自動通話方式も利用できます。

付属品を確認してください

無線機本体(RP835P).....1 台 AC アダプター.....1 個



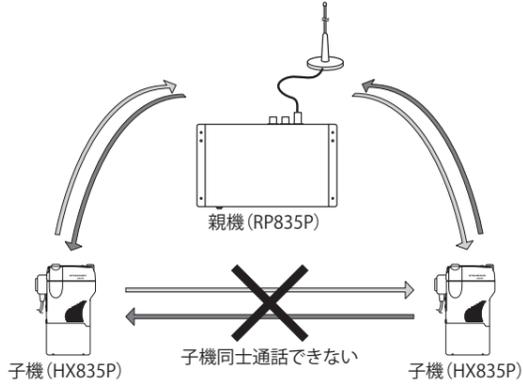
取扱説明書.....1 部 保証書.....1 部



システムについて

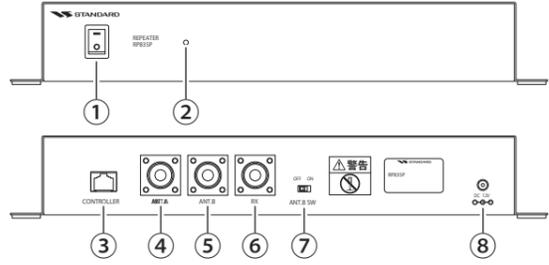
ここで説明するシステムは、作業連絡用通信システムの子機 (HX835P) / 親機 (RP835P) / 基地局 (CX835P) を使った基本的なシステムについてです。詳しい操作方法は子機 (HX835P) の取扱説明書をご覧ください。また、システムの設定および変更は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

- 本システムの機器は、送信と受信を同時に行います。したがって、他の人が話しているのを聞きながら、通話ができます。
- 本システムは、子機 (HX835P) 間の通話を親機 (RP835P) が中継をして行います。したがって、子機 (HX835P) 同士が直接話すことはできません。



- 子機 (HX835P) が 8 台以下のときは、各子機 (HX835P) にあらかじめ決められた周波数のチャンネルが割り当てられる **チャンネル固定通話方式** で通話を行います。子機 (HX835P) を **9 台以上** 使用する場合は、システムの設定を **自動通話方式** に変更します。これにより、チャンネルを有効に使用することができます。自動通話方式では、同時に通話できる子機 (HX835P) は **7 台** になります。
- 親機 (RP835P) には、オプションの基地局 (CX835P) が接続できます。基地局 (CX835P) を接続することで、基地局 (CX835P) と子機 (HX835P) 間で通話ができます。また、基地局 (CX835P) では、子機 (HX835P) の回線使用状況が分かります。

各部の名称と動作



- ① 電源スイッチ**
上側 (ー) に倒すと電源が入ります。また、下側 (○) に倒すと電源が切れます。
- ② インジケータ**
親機 (RP835P) の電源を入れたときに、約 9 秒間赤点灯し、その後、緑点灯します。緑点灯になってからご使用ください。
- ③ 基地局 (CX835P) 接続コネクタ (8 ピンモジュージャック)**
基地局 (CX835P) を接続する端子です。
- ④ 外部アンテナ接続コネクタ A (N 型同軸コネクタ)**
指定の送受信用のアンテナを接続します。
- ⑤ 外部アンテナ接続コネクタ B (N 型同軸コネクタ)**
指定の送受信用のアンテナを接続します。
- ⑥ 受信専用アンテナ接続コネクタ (N 型同軸コネクタ)**
指定の受信用アンテナを接続します。
- ⑦ アンテナ切替スイッチ**
外部アンテナ接続コネクタ B にアンテナを接続する時はこのスイッチを「ON」側にします。
- ⑧ DC 電源ジャック**
付属の AC アダプターを接続します。

※ 親機 (RP835P) の設置・設定については、販売店または (株) スタンダードの各営業所にご相談ください。

定 格

- 一般仕様**
- 送受信周波数 400MHz 帯の上り (受信) 72 チャンネル
下り (送信) 24 チャンネル
 - 電波形式 F3E、F2D
 - 通信方式 複信方式
 - 定格電圧 DC 12.0V
 - 発振方式 水晶発振により制御する
周波数シンセサイザー方式
 - 周波数の許容差 ± 4.0ppm
 - 周波数切替方式 手動切替 / 自動切替
 - 寸法
幅 300mm 高さ 50mm 奥行き 200mm
(突起物含まず)
 - 質量 約 1750g

- 受信部**
- 受信方式 トリプルスーパーヘテロダイン方式
 - 中間周波数 45.375 ~ 45.81875MHz (1stIF)
21.3 ~ 22.0kHz (2ndIF)
455kHz (3rdIF)
 - 受信感度 0dB μ 以下 (12dB SINAD)
 - スケルチ感度 -3dB μ 以下
 - 副次的に発する電波等の限度 4000 μ W 以下

- 送信部**
- 送信出力 1mW
 - 占有周波数帯幅 8.5kHz 以内
 - スプリアス発射の強度 2.5 μ W 以下
 - 変調方式 可変容量ダイオードによる直接周波数変調
 - 最大周波数偏移 ± 2.5kHz 以下
 - 識別符号伝送速度 1200bps (MSK 方式)
マーク周波数 (1200Hz)
スペース周波数 (1800Hz)
 - トーン周波数 67.0Hz ~ 250.3Hz (33 波中 1 波)

保証・アフターサービスについて

- この商品には、保証書を添付しています。保証書は、「お買い上げ販売店印・保証期間」をご確認のうえ、お受け取りください。
- 保証書は、よくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より一年間です。正常なご使用で、この期間内に故障したときは、お買い上げになった販売店で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、ご希望により有償修理いたします。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等によるアフターサービスについての不明点は、お買い上げになった販売店にご遠慮なくご相談ください。
- この商品は、無線設備規則第 49 条 14 に基づき、容易に開けられない構造になっています。そのために特殊なビスにより組み立てられています。アフターサービスの際は、必ずお買い上げ販売店にお問い合わせください。

オプション

CX835P 基地局 (CX835P)
HX835P 子機 (HX835P)



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 □ 名古屋営業所
- 仙台営業所 □ 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/> 営業所住所はこちら ▶



正常なご使用状態で万一故障した場合は、ご購入いただいた販売店までご相談ください。

開発製造：パーテックススタンダード LMR 合同会社
a Motorola Solutions Company
URL : <http://standard-radio.jp>

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。